

2025年2月3日

新座市長 並木 傑 様

にいぎジェンダー平等ネットワーク

連絡先：新座市野火止3-8-8

谷森方

「男女共同参画推進プラザ」の再設置を求める要望書

日頃、市政にご尽力されていることに敬意を表します。

さて、私たちは市の公共施設への男女共同参画社会づくり推進の活動拠点としての男女共同参画推進プラザ（以後「推進プラザ」）の再設置を求め、改めて下記の通り要望致します。

記

（仮称）三軒屋公園等の複合施設（以後「複合施設」）か市役所内、または公共施設内に「推進プラザ」を再設置してください。

理由

埼玉県のHPによれば、R5（2023）年4月1日現在、県内で「推進センター」・「配偶者暴力相談支援センター」（以後「DV支援センター」）のどちらも設置しているのは12市、「推進センター」のみの設置は10市、「DV支援センター」のみの設置は10市です。

残念ながら新座市はどこにも入っておりません。新座市は埼玉県男女共同参画推進センター（With You さいたま）と同じ2002年に開設し、2021年まで約20年間存続していた「推進プラザ」を一方的に廃止され残念でなりません。

ところで、2024（R6）年12月13日「第6次男女共同参画基本計画」（以後「第6次基本計画」）策定に向けた「基本的な考え方」についての内閣総理大臣からの諮問を受け、「第6次基本計画」の検討が始まりました。そして、「第6次基本計画」は、2025（R7）年夏頃、「基本的な考え方」（素案）をとりまとめ、公聴会、パブリックコメントを経て、「第6次基本計画」の答申を行い、12月に閣議決定予定となっています。

早速、2024年12月24日、「第6次基本計画策定専門調査会（第1回）及び計画実行・監視専門調査会（第38回）」が開催されましたが、その中で「男女共同参画センターにおける業務及び運営に関するガイドライン案」（以後「ガイドライン」）が提言され、討議されました。

このように、政府における「推進センターの」機能強化に向けて検討・実施され、全国の自治体における男女共同参画社会の実現に向けて「推進センター」の機能強化のための「ガイドライン」を作成・配布する状況にあります。このような状況下、新座市は2001（H13）年に男女共同参画都市を宣言し、翌年には「推進プラザ」を開設、以降約20年間存続してきた「推進プラザ」の廃止という汚点を新座市の歴史に残したままでよいのでしょうか。貴職の再設置へのご決断を要望します。

以上